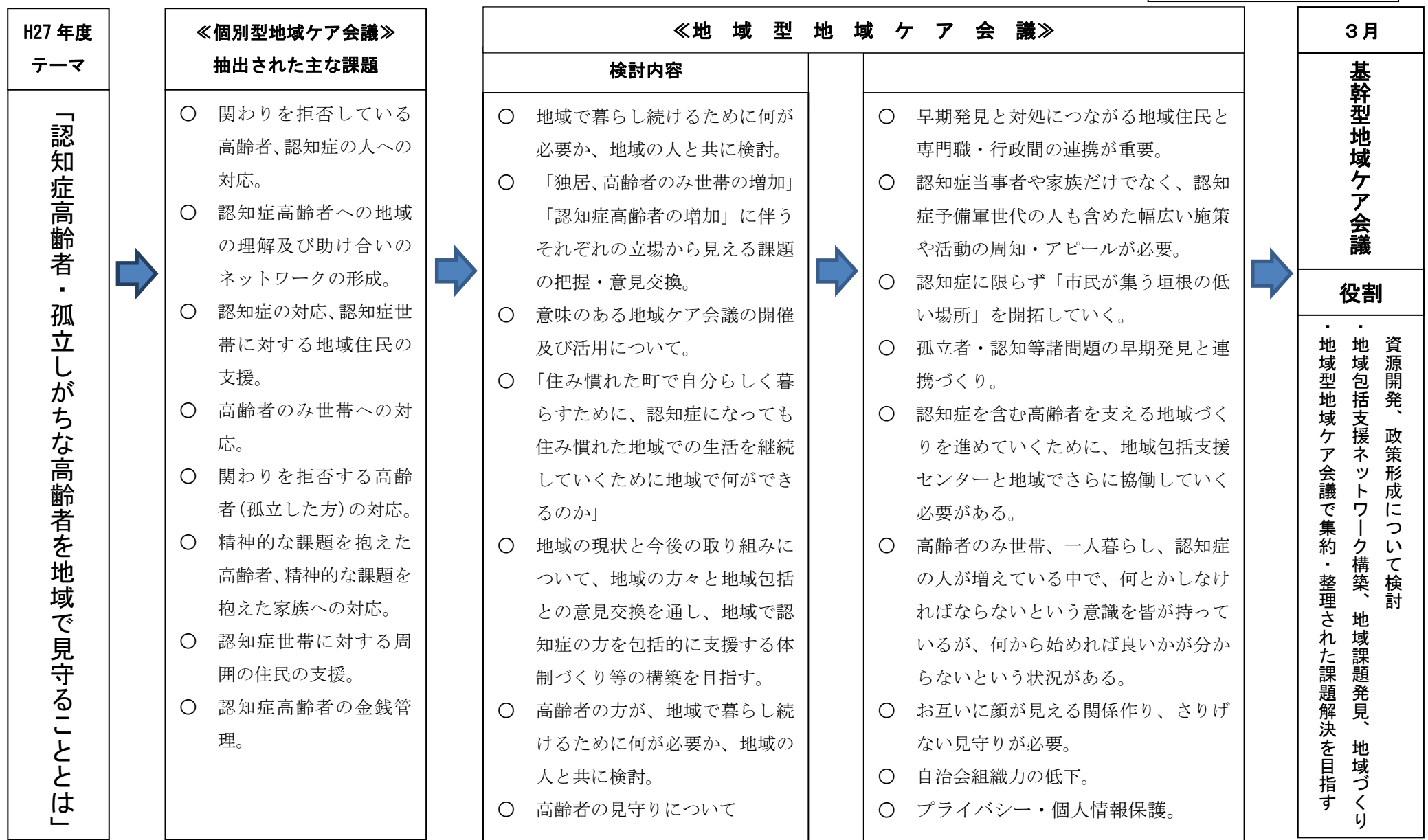


平成27年度 小平市地域ケア会議 実績報告 全体版(4~10月)



	会議種別	実施月	検討内容	参加機関	開催結果	地域で共有したい課題
1	<input type="checkbox"/> 個別課題 <input checked="" type="checkbox"/> 地域課題	5月	①住み慣れた町で自分らしく暮らすために、認知症になっても住み慣れた地域での生活を継続していくために地域で何ができるのか。 ②地域の現状と今後の取り組みについて、地域の方々と包括との意見交換を通し、地域で認知症の方を包括的に支援する体制づくり等の構築を目指し、開催する。	民生委員児童委員・自治会会長・地域包括けやきの郷	<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員や自治会会長それぞれの地域の情報を交換。共通する課題についての認識を共有することができた。 ・認知症サポーター養成講座などを開催し、地域で認知症サポーターを増やしていくことを周知した。 ・地域力が重要。 ・包括は積極的にアウトリーチを行い、側面支援を実施していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症を含む高齢者を支える地域づくりを進めていく為に、包括と地域でさらに協働していく必要あり。
2	<input type="checkbox"/> 個別課題 <input checked="" type="checkbox"/> 地域課題 ※小川ホームと合同開催	6月	高齢者が安心して生活できる地域づくり。 ①地域における利用者を支えるための連携は、まずは顔の見える関係づくり。 ②「独居、高齢者のみ世帯の増加」「認知症高齢者の増加」に伴うそれぞれの立場から見える課題の把握・意見交換。 ③意味のある地域ケア会議の開催及び活用について。	自治会・民生委員児童委員・大学教授・小平西ネット・訪問看護ステーション・居宅介護支援事業所・訪問介護・公民館・高齢者支援課・地域包括けやきの郷・地域包括小川ホーム	<ul style="list-style-type: none"> ・早期発見と対処につながる地域住民と専門職・行政間の連携の重要性。 ・当事者、家族だけでなく予備軍世代の人も含め幅広い施策や活動の周知・アピール ・認知症に限らず「市民が集う垣根の低い場所」を開拓していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・孤立者・認知等諸問題の早期発見と連携。

	会議種別	実施月	検討内容	参加機関	開催結果	地域で共有したい課題
3	<input type="checkbox"/> 個別課題 <input checked="" type="checkbox"/> 地域課題	7月	<p>①住み慣れた町で自分らしく暮らすために、認知症になっても住み慣れた地域での生活を継続していくために地域で何ができるのか。</p> <p>②地域の現状と今後の取り組みについて、地域の方々と包括との意見交換を通し、地域で認知症の方を包括的に支援する体制づくり等の構築を目指し、開催する。</p>	民生委員児童委員 4 名・地域包括けやきの郷 3 名	<p>・少人数であったため、それぞれの意見をゆっくりと聞くことができ、けやきの郷の圏域で起きている事柄や、民生委員の方の心配事などを、お互いに情報を共有することができた。</p> <p>・今後も、民生委員・包括と協同していきながら、認知症高齢者をはじめとする独居・高齢者のみ世帯などを支援していくことを確認できた。</p>	・認知症を含む高齢者を支える地域づくりを進めていく為に、包括と地域でさらに協働していく必要あり。

	会議種別	実施月	検討内容	参加機関	開催結果	地域で共有したい課題
1	<input type="checkbox"/> 個別課題 <input checked="" type="checkbox"/> 地域課題 ※けやきの郷と合同開催。	6月	高齢者が安心して生活できる地域づくり。 ①地域における利用者を支えるための連携は、まずは顔の見える関係作り。 ②「独居、高齢者のみ世帯の増加」「認知症高齢者の増加」に伴うそれぞれの立場から見える課題の把握・意見交換。 ③意味のある地域ケア会議の開催及び活用について。	自治会・民生委員児童委員・大学教授・小平西ネット・訪問看護ステーション・居宅介護支援事業所・訪問介護・公民館・高齢者支援課・地域包括小川ホーム・地域包括けやきの郷	・早期発見と対処につながる地域住民と専門職・行政間の連携の重要性。 ・当事者、家族だけでなく予備軍世代の人も含め幅広い施策や活動の周知・アピール ・認知症に限らず「市民が集う垣根の低い場所」を開拓していく。	・孤立者・認知等諸問題の早期発見と連携。

	会議種別	実施月	検討内容	参加機関	開催結果	地域で共有したい課題
1	<input checked="" type="checkbox"/> 個別課題 <input type="checkbox"/> 地域課題	5月	①認知症で暴力的、暴言があり、地域に迷惑をかけてしまう方の今後の生活について。 ②最近の状況と課題の共有、今後の支援の方向性について。	地域支援担当・生活保護担当・権利擁護センター・後見人候補者・担当ケアマネ・訪問看護・シルバーピア生活協力員・地域包括小川ホーム	・認知症やそれに伴う問題行動がある方を地域で支えるために、現状の課題を関係者で共有し、具体的に各関係者の役割を明確化させることが出来た。 ・利用者の今後の支援の方向性について、関係者で確認することが出来た。	・認知症独居高齢者の在宅生活を支えていくために、関係者の支援の役割分担。
2	<input checked="" type="checkbox"/> 個別課題 <input type="checkbox"/> 地域課題	6月	※5月からの継続ケース。 ①認知症で暴力的、暴言があり、地域に迷惑をかけてしまう方の今後の生活について。 ②最近の状況と課題の共有、今後の支援の方向性について。	地域支援担当・生活保護担当・権利擁護センター・後見人候補者・保健所・担当ケアマネ・地域包括小川ホーム	・認知症やそれに伴う問題行動がある方を地域で支えるために、現状の課題を関係者で共有し、具体的に各関係者の役割を明確化させることが出来た。 ・利用者の今後の方向性や方法について、関係者で確認することが出来た。	・認知症独居高齢者の在宅生活を支えていくために、関係者の支援の役割分担の明確化。 ・認知症高齢者への地域の理解及び助け合いのネットワークの形成が課題。
3	<input checked="" type="checkbox"/> 個別課題 <input type="checkbox"/> 地域課題	7月	※5、6月からの継続ケース。 ①認知症で暴力的、暴言があり、地域に迷惑をかけてしまう方の今後の生活について。 ②最近の状況と課題の共有、今後の支援の方向性について。	本人・生活保護担当・権利擁護センター・後見人候補者・担当ケアマネ・地域包括小川ホーム	・認知症やそれに伴う問題行動がある方を地域で支えるために、現状の課題を関係者で共有し、具体的な役割が明確にできた。また、利用者の今後の方向性や方法について、関係者で確認できた。	・認知症独居高齢者の在宅生活を支えていくために、関係者の支援の役割分担の明確化。 ・認知症高齢者への地域の理解及び助け合いのネットワークの形成が課題。

	会議種別	実施月	検討内容	参加機関	開催結果	地域で共有したい課題
4	<input checked="" type="checkbox"/> 個別課題 <input type="checkbox"/> 地域課題	7月	①同居する息子の病的な新聞収集癖の為、退院後の静養ができず病状悪化が必至で入退院の繰り返しになる可能性が高い高齢女性の今後について。 ⇒利用者の病状悪化予防と安全な在宅生活の確保	担当医師・医療連携看護師・本人・長女・長男・地域支援担当・担当ケアマネ・地域包括小川ホーム	<ul style="list-style-type: none"> 同居の息子へ対しての遠慮する気持ちが長女、長男にあることが確認できた。 具体的な対応策を話合うことができた。 現状を打開するために、課題は大きい現状を打開するための道筋は付けられた。 	<ul style="list-style-type: none"> 精神的な問題を抱えた子供と同居する高齢者家族の支援について。 問題化している集合住宅（都営）の管理について住宅供給公社や防災上の視点で消防署などとも連携が取れるシステムづくり。

	会議種別	実施月	検討内容	参加機関	開催結果	地域で共有したい課題
1	<input type="checkbox"/> 個別課題 <input checked="" type="checkbox"/> 地域課題	10月	高齢者の方が孤立せず安心して暮らすために必要な見守りについて考える。	民生委員児童委員・見守りボランティア・居宅介護支援事業所・訪問介護・ボランティアセンター・地域支援担当・包括中央センター	<ul style="list-style-type: none"> ・地域より、小グループを作り、お互いの見守りを推進したいとの意見が挙がった。 ・地域の繋がりづくりの場（サロンや地域のまつりなどの活用）を創設したい。 ・既存の施設・資源を活用し、地域住民も参加できる場所をつくりたい。 ・市報以外にも情報を伝えていく、市民掲示板などを作って欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・プライバシーや個人情報保護の観点から連携が難しいことがある。 ・自治会組織力が低下している。（宅地化が進み、新たな住民と今までの住民との交流が分断されている。）

平成 27 年度 小平市 個別型地域ケア会議 実績報告

中央圏域（ 中央センター ）

	会議種別	実施月	検討内容	参加機関	開催結果	地域で共有したい課題
1	<input checked="" type="checkbox"/> 個別課題 <input type="checkbox"/> 地域課題	9月	①アルコール過剰摂取による病状の悪化。 ②セクハラのような発言がもたらすサービス提供の滞りの可能性。 ③介護保険が利用できなくなった場合の代替となる支援について。	本人、担当ケアマネ、訪問介護サービス提供責任者、訪問看護管理者、保健所、地域支援担当、地域包括中央センター	<ul style="list-style-type: none"> ・本人の意向について、支援者一同で情報共有をし、合意が図れた。 ・今後の支援について、役割分担を行えた。 ・日常生活上リスクが高い利用者に対して、方向性を明確にしたことで、支援する事業所の不安・精神負担が軽減された。 	<ul style="list-style-type: none"> ・どの制度にも当てはまらなくなる利用者の支援体制について。 ・現役世代の利用者への就労支援。 ・アルコール依存症患者の集える場の拡大。

	会議種別	実施月	検討内容	参加機関	開催結果	地域で共有したい課題
1	<input type="checkbox"/> 個別課題 <input checked="" type="checkbox"/> 地域課題 ※小平健成苑と合同開催。	7月	①地域で暮らし続けるために何が必要か、地域の人と共に検討。	自治会長、地区民生委員、見守りボランティア、地域住民、薬局、公民館長、居宅介護支援事業所、基幹型地域包括、地域包括多摩済生ケアセンター、地域包括小平健成苑	・高齢者のみ世帯、一人暮らし、認知症の人が増えている中で、何とかしなければならないという意識を皆が持っていると感じた。ただ、何から始めれば良いかが分からないという意見があった。お互いに顔が見える関係作り、さりげない見守り、気軽に立ち寄れる場所などが必要。	・関わりを拒否している高齢者、認知症の人への対応。

	会議種別	実施月	検討内容	参加機関	開催結果	地域で共有したい課題
1	<input checked="" type="checkbox"/> 個別課題 <input type="checkbox"/> 地域課題	4月	①妄想性障害の男性の退院・在宅での支援について。 ②支援を拒否しているため、在宅生活支援受け入れ態勢をどのようにしていくか検討。	主治医、病院看護師、担当ケアマネ、基幹型地域包括、地域包括多摩済生ケアセンター	・訪問看護導入し、状況把握後訪問介護や通所介護利用につなげる。 ・在宅生活がどこまで可能かどうか判断していく。	・精神障害対応、認知症対応、高齢者のみ世帯対応。
2	<input checked="" type="checkbox"/> 個別課題 <input type="checkbox"/> 地域課題	5月	①認知症夫婦の生活、金銭管理について。 ②今後の役割分担とこの夫婦への支援のあり方について確認。	権利擁護センター・担当ケアマネ、知人、生活保護担当、地域包括多摩済生ケアセンター	・妻は権利擁護事業が関わりを持つようになり、今後契約の方向で動いている。 ・サービス利用も十分とはいえないが、少しずつ同意を得ながら利用開始している。	・認知症世帯に対する周囲の住民の支援について。 ・サービス事業者と住民の連携について。
3	<input checked="" type="checkbox"/> 個別課題 <input type="checkbox"/> 地域課題	8月	誤嚥、窒息のリスクが高い利用者への支援について。 ① 嚥下評価時の確認事項。家族同席の促し。評価時の食事準備の打診について。 ② 嚥下評価後の対応について。	保健所、地域支援担当、基幹型地域包括、地域包括多摩済生ケアセンター、担当ケアマネ、訪問介護、訪問リハビリ	・準備不足で再評価を予定。 ・訪問介護援助時のみだが、嚥下評価の結果をふまえた介助できており、食事時間の短縮、むせの軽減、食事量確保はできるようになり、今のところ本人の負担軽減が図れている。	・本人、家族の要望と現状が合わない場合の事業所のリスクマネジメントについて。

	会議種別	実施月	検討内容	参加機関	開催結果	地域で共有したい課題
4	<input checked="" type="checkbox"/> 個別課題 <input type="checkbox"/> 地域課題	10月	<p>誤嚥窒息のリスクが高い利用者への支援について。</p> <p>① 各サービス事業所の対応について確認。</p> <p>② 今後の支援に当たっての確認。</p>	保健所、地域支援担当、基幹型地域包括、地域包括多摩済生ケアセンター、担当ケアマネ、訪問介護、訪問リハビリ	<p>次回の介入ポイントの確認、今後の方針の確認が明確になった。</p> <p>支援の基本姿勢の再確認ができた。</p>	<p>・本人の状態と家族の要望に大きなずれや変化が生じてきた場合の、事業所のリスクマネジメントについて。</p>

	会議種別	実施月	検討内容	参加機関	開催結果	地域で共有したい課題
1	<input type="checkbox"/> 個別課題 <input checked="" type="checkbox"/> 地域課題 ※多摩済生ケアセンターと合同開催。	7月	①地域で暮らし続けるために何が必要か、地域の人と共に検討。	自治会長、地区民生委員児童委員、見守りボランティア、地域住民、薬局、公民館長、居宅介護支援事業所、基幹型地域包括、地域包括多摩済生ケアセンター、地域包括小平健成苑	・高齢者のみ世帯、一人暮らし、認知症の人が増えている中で、何とかしなければならないという意識を皆が持っていると感じた。ただ、何から始めれば良いかが分からないという意見があった。お互いに顔が見える関係作り、さりげない見守り、気軽に立ち寄れる場所などが必要。	・関わりを拒否している高齢者、認知症の人への対応。

	会議種別	実施月	検討内容	参加機関	開催結果	地域で共有したい課題
1	<input checked="" type="checkbox"/> 個別課題 <input type="checkbox"/> 地域課題	4月	認知症高齢者と同居の長男の相互暴力と、今後の生活について。 ①本人の認知症状悪化に伴う長男のストレスと身体的暴力の増加。 ②本人の資産（自宅）や年金等経済的な問題について。	長男・地域支援担当・基幹型地域包括・地域包括小平健成苑	<ul style="list-style-type: none"> ・長男自身の暴力の自覚、今後の生活についての不安を関係機関の共通理解とする。 ・基幹型地域包括より、自宅売却、成年後見制度について助言を得ていく。 ・区分変更申請、入所申請により長男の精神的な介護負担を軽減する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症高齢者夫婦と精神疾患のある子の同居世帯で生じる問題について。
2	<input checked="" type="checkbox"/> 個別課題 <input type="checkbox"/> 地域課題	4月	※上記の継続ケース 認知症高齢者と同居する長男からの暴力と、今後の生活について。 ①本人の認知症状悪化に伴う長男のストレスと身体的暴力の増加。 ②本人の資産（自宅）や年金等経済的な問題について。	地域支援担当・基幹型地域包括・地域包括小平健成苑	<ul style="list-style-type: none"> ・長男からの身体的・経済的虐待であるという認識を関係機関で共有した。 ・長男の同居の有無に関わらず、本人の在宅生活の継続は困難と判断、施設入所を念頭においた対応を共通理解とする。 ・長男の経済的自立が問題の根本にあることを共通理解とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症高齢者夫婦と精神疾患のある子の同居世帯で生じる問題について。

	会議種別	実施月	検討内容	参加機関	開催結果	地域で共有したい課題
3	■個別課題 □地域課題	4月	①認知症、精神障害を持つ利用者、今後の支援について。	主治医・病院相談員・基幹型地域包括・通所介護相談員・担当ケアマネ、地域包括小平健成苑・訪問介護担当・地域支援担当	・本人の認知症状も進み金銭管理が困難さ、妹への暴力などを参加者で確認をし、入院の必要性、在宅生活の困難さ、介護者の負担の増大を関係機関で共通理解出来た。 ・今後は入院に向けて妹様への理解をしてもらうための会議を開催していく。	・親子での認知症、利用者は統合失調症があり、妹が主介護者としてつぶれない、うつ症状を悪化させない。妹のサポートをしながら各関係機関と連携しながら課題を解決していく必要がある。
4	■個別課題 □地域課題	5月	※上記の継続ケース ①認知症、精神障害を持つ利用者、今後の支援について。	妹・基幹型地域包括・母担当ケアマネ、本人担当ケアマネ、地域包括小平健成苑・訪問介護担当・地域支援担当・障がい者支援	・本人の認知症状も進み金銭管理の困難さ、妹への暴力などを参加者で確認をし、入院の必要性、在宅生活の困難さ、介護者の負担の増大を関係機関で共通理解出来た。 ・今後は妹様のサポートをしながら入院の方向で支援していくが、「在宅でできれば面倒もみたかった」との妹の思いも関係者で受け止めながら支援していく。	・親子での認知症、利用者は統合失調症があり、妹が主介護者としてつぶれない、うつ症状を悪化させない。妹のサポートしながら各関係機関と連携して課題を解決していく必要がある。

	会議種別	実施月	検討内容	参加機関	開催結果	地域で共有したい課題
5	<input checked="" type="checkbox"/> 個別課題 <input type="checkbox"/> 地域課題	10月	精神疾患のある長女と同居する認知症高齢者のサービス調整・金銭管理について。	本人担当ケアマネ・訪問介護担当・訪問看護担当・障がい相談支援事業所相談員・障がい作業所施設長・障がい者支援担当・権利擁護センター・地域包括小平健成苑	① 本人の訪問介護については借金による利用拒否があるため、金銭的問題解決後に検討予定。市内在住の二女に服薬確認、金銭管理への関わりを要請していく。 ② 本人、長女の了解が得られた後、権利擁護センター、包括支援センター職員が訪問し、今後の金銭管理方法について相談していく。	認知症高齢者と精神疾患のある同居家族の生活支援について。 認知症高齢者の金銭管理について。